

もくじ

- ・ あおいとり

あおいとり

げんさく： モーリス・メーテルリンク

イラスト： ゆきお

へんしゅう： イエローバードプロジェクト

3

きょうは クリスマスイブ。
『チルチル』と『ミチル』は、ラジオから ながれる
おんがくに あわせて、ダンスをしていました。
あにの チルチルと、いもうとの ミチルは、
とても なかのいい きょうだいでした。

ふたりのいえは まずしく、
ここには クリスマスの プレゼントも
かざりも、なにもありません。

それでも、こうして たのしく ダンスをしたり、
うたを うたっているだけで、
ふたりは とてもしあわせでした。

ふと だれかが、いえのドアを たたきました。

ドアをあけると、そこには、
つえをついた おばあさんが たっていました。



5

「こんばんは。あなたたち『あおいとり』を
しらないかい？」

「あおいとり？ ぼくのかっている とりは、
ただの キジバトだよ。あおいとりじゃないよ」

「そうかい。とても しあわせそうな うたごえが
きこえてきたから、ここに あおいとりが
いるんじゃないかと おもってね。
あおいとりは、しあわせをはこぶ とりだから」

おばあさんは、とても がっかりしたようすで
いました。

「おばあさんは、どうして あおいとりを
さがしているの？」

「じつは わたしは、まほうつかいなんだよ。
びょうきの こどもたちに、あおいとりを
みせてあげたくてね。・・・ああ、そうだ！
あなたたち、あおいとりを さがしてきて
くれないかい？」

チルチルとミチルは、とてもおどろきました。

